

AI・画像処理・ロボティクスPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年09月04日 ～2025年09月11日	スリランカ	モロトゥワ大学	<ul style="list-style-type: none"> 電子工学科、電気電子情報工学専攻 学部3年生、学部4年生、修士1年生、修士2年生 	(芝浦工業大学) 学生15名、学生バイト2名、 教員1名 (モロトゥワ大学) 学生11名	プレーマチャンドラ チンタカ (電気電子工学課程先端電子工学コース)



図1 文化交流の様子

芝浦工業大学の画像処理・ロボティクス研究室では、スリランカのモロトゥワ大学 (University of Moratuwa) からの国際学生チームを迎え、Global Project-Based Learning (gPBL) ワークショップを開催しました。このワークショップは、国境や専門分野を越えた協働を通じて、学生たちの技術的課題解決力と異文化理解を育むことを目的としています。

プログラム期間中、参加者は日本とスリランカ双方の学生で構成された混成チームに分かれ、多様な視点と専門性を活かして活動しました。各チームは、人工知能 (AI)・画像処理・ロボティクスといった分野の中から、自らテーマを設定し、独自の技術課題に取り組みました。このような自律的なアプローチを通して、学生たちは創造性を発揮し、理論知識を実践的な課題に応用するとともに、先端技術に関する実践的な経験を積むことができました。

また、このワークショップでは異文化間のコミュニケーションとチームワークにも重点が置かれました。学生たちは、言語や文化の違いを超えて効果的に意見を共有し、異なる価値観や考え方を理解・尊重する力を養いました。研究活動に加えて、交流会や文化紹介などのイベントも行われ、参加者同士の友情や相互理解をさらに深める機会となりました。

総じて、このgPBLワークショップは参加したすべての学生にとって大変貴重で有意義な経験となりました。技術的・研究的なスキルの向上に加えて、国際的な視野を広げ、将来のグローバルなプロジェクトやイノベーションに貢献できる人材として成長するための貴重な一歩となりました。



図2 チームごとの共同作業の様子①



図3 チームごとの共同作業の様子②



図4 最終日の発表会の様子



図5 最終日の集合写真